

進路だより

発行：平成28年3月23日

1 合格体験記

これまでの卒業生から皆さんへ合格体験記を贈ります。進路活動について先輩方の行ってきた勉強法などを自分の進路実現の参考にしてください。

「計画はギリギリ失敗するくらいが適当」

中等2年生 神戸大学医学部保健学科検査技術科学専攻

①学習方法

大学受験のための学習では、どのような場面においても「バランス」が大切だと感じました。予習と復習、勉強と遊び、そしてインプットとアウトプットのバランスです。私は特に三つ目について、センター試験直前に過去問にばかり取り組み、アウトプットだけに力を入れたために思うような結果を出せませんでした。皆さんにはこうした反省を生かしてうまくバランスを取りながら、学習を進めてほしいと思います。

②大学受験に対する心構え

受験勉強では計画的な勉強が重要ですが、計画はギリギリ失敗するくらいが適当だと思います。受験生の目標は第一志望に合格することであって、計画通りに進めることだけではありません。残ったものは次の日にやることにして、12時には寝ましょう。

③その他伝えたいこと

夏休み明けくらいになると、今まで以上に、それぞれが個々の勉強をしなくてはなりません。京大や医学科を志望するなら全てを徹底的に、阪大を志望するならセンターの勉強を簡単に済ませたら応用問題をとことんこなし、神戸大や大阪市大を志望するなら発展的な内容にまで背伸びをせずに基本問題をこなしていく、そういった戦いが始まります。周りに惑わされずに、自分を信じて頑張ってください。

④参考となった参考書・問題集

英語：システム英単語（駿台受験シリーズ）（駿台文庫） 英文標準問題精講（旺文社）
数学：カルキュール数学（駿台受験シリーズ）（駿台文庫） クリアー数学演習受験編（数研出版）
物理：セミナー物理（第一学習社） 物理基礎問題精講（旺文社） 物理重要問題集（数研出版）
化学：ニューグローバル化学（東京書籍） 化学基礎問題精講（旺文社） 化学重要問題集（数研出版）

「大学受験に正攻法や定石は存在しません」

中等2年生 神戸大学経済学部

①学習方法

6年生になるまであまり家庭学習はしていませんでしたが、出された宿題はきちんと提出し、定期考査はしっかり勉強して臨むなど最低限のことはしていました。6年生になり、本格的に受験勉強を始めてからは効率良くやることを心掛け、勉強時間の長さよりも勉強の内容を重視しました。また、入試ではより多く点を取った人が勝ちなので、どうすれば自分の点が上がるかということを常に考えていました。そして普段の学習や模試の結果などを省みて自分の弱点を自覚し、そこを克服することで着実に点を伸ばしました。例えば、僕はどの教科においても問題を解くのが遅く、できる問題も時間不足で手をつけられないことが多かったので、勉強するときは問題文を早く読んだり制限時間を短めに設けたりして解くスピードを上げることを意識しました。ただ漠然と勉強するのではなく、このように目的意識をもって取り組むことで意味のある学習となり、得点アップに結びつけることができました。

②大学受験に対する心がまえ

大学受験に正攻法や定石は存在しません。合格への道りは人それぞれなので、自分自身で切り開いていかなければなりません。もちろん勉強の仕方を先生に相談するのもよいですが、やはり自分に合った方法は自分で見つけていくのが一番だと思います。また、途中で友達が使っている参考書の方が自分のものよりもいいんじゃないか・・・、友達の方がたくさん問題集を使っている・・・など他人のことが気になり不安を感じる時期が来ますが、自分を信じて下さい。ブレずに続けることで力をつきます。

③その他伝えたいこと

あまり無理はしないよう気をつけて下さい。体調管理は勉強と同じくらい大切です。私も夜1時以降は必ず寝ると決めていました。また、眠くなったら昼寝もしました。頭がすっきりした状態で勉強の方が絶対いいと思います。

また、僕は推薦入試で合格したのですが、最初は自己推薦書などを書くのに時間が取られるため出願するか迷いました。しかし、「せっかく出願資格を満たしているし、チャンスが1回増えるのだから挑戦してみよう」と考え受験することにしました。あの時諦めなくて本当に良かったと思います。このようにチャンスがあるならぜひチャレンジすべきだと思います。後悔のない大学受験にして下さい。

④参考となった参考書・問題集

英語：やっておきたい英語長文 700(河合出版)
国語：古文単語 FORMULA600(東進ブックス) らくらくマスター漢文句形と単語(河合出版)
理科：マーク式総合問題集 生物基礎/地学基礎(河合出版)
日本史B：時代と流れで覚える！日本史B用語(文英堂)
地理B：センター試験地理Bの点数が面白いほどとれる本(中経出版)

「授業や自学で生じた疑問点を絶対に放置しないこと」

中等2回生 筑波大学社会・国際学群社会学類

①志望に至った経緯

当初、私は関西圏にある他大学を志望先に挙げていました。しかし、私は大学に入ってから学びたいことや研究したいことははっきりしていた一方で、当初の志望大学に対して「自分は本当にここに行きたいのだろうか。」という思いが常に心の中にあり、志望大学がこのままでいいのかわ悩みました。そうした時に筑波大学の説明会に足を運んだことがきっかけで、たちまちその魅力に惹かれていきました。私は本校での卒業研究を通して、大学では「持続可能な観光まちづくり」について研究したいと考えていました。「観光」は様々な産業が複合的に交わって成り立っている産業であるため、学際的な学問対象です。筑波大学社会・国際学群では、他大学とは異なり、「社会」を社会・経済・法・政治の4分野から学祭のかつ多角的に学ぶことができるので、「観光」について学ぶには最適な学びの場であると考えました。こうして私は、筑波大学への志望を決意するに至りました。

②大学受験に対する心構え

私は小論文と個人面接がある公募制推薦入試を受験しました。当初は一般入試を受験するつもりでいましたが、後に公募制推薦入試があることを知りました。そして「第1志望合格へのチャンスを広げたい」という強い意志から、一般入試での受験に加えて公募制推薦入試での受験を決意しました。実は、推薦入試での受験を決意する過程でも大きく悩みました。受験を決意する過程では様々な人のアドバイスを聞きましたが、「筑波大学の推薦入試は、簡単に合格できるものではない。」ということも言われていたので、一般入試の勉強に加えて推薦入試対策に取り組む決意をすることは私にとって覚悟があることでした。それでも悩んだ分、志望校に対して変わらない思いが私の中にあることを改めて感じ、「チャンスを広げる」という強い気持ちで公募制推薦入試の受験を決意しました。夏休み中は今までと変わらずセンター試験と一般入試に向けた勉強に励みました。そして夏休み明けから少しずつ推薦入試を意識した対策を始めました。

③学習方法

受験勉強は学校での学習の延長線だと思えます。私が6年間常に心がけていたことは、「授業や自学で生じた疑問点を絶対に放置しないこと」です。授業中に分からないことがあれば、授業後すぐに先生に質問をしにいきました。またその時に質問をしきれなかった分や自学で生じた質問は、日頃からまとめておいてテスト期間中に一気に質問をすることもありました。毎回の考査ではどの教科も校内順位上位を目指しました。これが私の6年間の基本的な姿勢です。私は成績が最初から学年上位だったわけではありませんでした。しかし、1つずつ学年が上がるにつれて成績と校内順位が上がったことは、今振り返ると上記の姿勢を地道に続けていったからだと思えます。

「古文と漢文」は、6年生になってから特に力を入れて取り組みました。今まで疎かにしてしまっていた分、春頃に集中的に取り組んで最終的に1番伸びた教科でした。文法から長文まで問題を一通り解いて自分の足りない部分を理解した上で、先生に質問をしました。このサイクルのおかげで私の中で不十分だった知識が少しずつ埋まっていったと思います。また、授業中に扱った教材に出てきて分からなかった単語や句形をまとめたオリジナルのノートを作り、スキマ時間に繰り返し見て覚えるようにしました。

私が苦手だった「数学」は、前期生の頃から特に問題集を繰り返し何度も解いて取り組み、分からないことは先生方に質問に行きました。数学の勉強方法は、私のように同じ問題集を何回も繰り返すか、それとも様々な問題集をこなすかでタイプが分かれると思うので、みなさんには自分にあった方法を見つけて欲しいです。

「英語」は、特に6年生の夏休みに集中的に取り組みました。長文は、「1日3題解く」と決めて数をこなすようにしたことで、内容を理解する力だけでなく速読にも繋がりました。また解きっぱなしではなく、文章に出てきて分からなかったイディオムをまとめたノートを作ることがおすすめです。これも繰り返し見ることで定着させていきました。夏休みの長期休暇は長文の他にも文法を集中的に復習し直すいい機会でした。リスニングに関しては、これと言った問題演習はしませんでした。以前に学校で宿題として配布された様々なトピックについて英語で話されているCD音源を活用し、定期的に聞くようにして耳を慣らすようにしていました。

「社会・理科」は、特に普段の定期考査、そして模試の解き直しを大切にしました。社会・理科の模試は模試ごとに同じポイントを問われることが多くあります。私は、社会・理科に関して「模試ノート」を作り、抜けていたポイントをまとめて、次の模試ではこのノートを見れば大丈夫という状態にしていました。この2科目は受験勉強で他教科と比べて手を付ける時間は少なかったですが、現役生が弱いとされている社会・理科を疎かにしないことで模試では偏差値や順位も比較的良く出て、私立の判定もよく出ました。だから、この2科目は特に毎回のテストを大切にすべきです。またセンター過去問においても、同じポイントが繰り返し問われていることがあったので、先程と同じ事

が言えると思います。次に私が選択していた日本史に関して、夏休み前に先生から「日本史・世界史は夏休み中に仕上げしておくべき。」というアドバイスを頂いていたので、夏休み中に未習範囲も含めて日本史全範囲を自力で終わらせた。今振り返ると、あの時に全範囲を終わらせていたことで授業や自学でも復習の時間を多く取ることができ、明治期以降を確実に定着させることができました。

また勉強全体について時間にメリハリをつけることも心がけました。部活動を引退した後も今までの生活リズムを崩さずに、平日は「朝早くに学校に来て、放課後は学校で最終下校時刻まで勉強する」という習慣を続けました。模試も入試も朝から始まるので、朝型にしているのが良かったと思います。休日は塾の自習室で1日中取り組みました。また部活動を引退して本格的に受験勉強を始めた最初の頃は、教科ごとに勉強時間を計ることで効率的な勉強の習慣を定着させるようにしました。モチベーションの維持に関しては、「目に見える形で勉強してきたことを表す」ことが役立ちました。例えば自学の際には必ず、前期生の時はノートを用いて、また後期生の時は裏紙を用いて勉強をして、それを部屋に溜めておいて目に見える形にすることで、「これだけやってきたから、まだ頑張れる。」と自分を励ましていました。

④後輩へ伝えたいこと

後期生の人はもちろん、前期生も志望大学の検討をしていることと思います。私は後期生になってから、様々な大学のオープンキャンパスに可能な限り足を運び、模擬講義を受けたり資料を集めたりしました。本格的には6年生になってから志望校を決定していきますが、皆さんには「本当に自分が行きたい大学を見つけて欲しい」と思います。私は、最終的に本当に行きたいと思える大学に出会うことができましたが、それは6年生になったばかりの春頃でした。もう少し早く決めていればさらに焦点を絞った学習もできたと思います。みなさんは部活動や習い事、生徒会活動など他にも時間をかけていることがあると思いますが、4・5年生のうちから選り好みせず多くの大学と出会ってほしいです。その為にも、ぜひオープンキャンパスに行ってみてください。そこが志望大学でなくても、やりたいことが明確になることもあります。私は、4年生の時に関西学院大学のオープンキャンパスに足を運んで、「社会学」の面白さを知り、この学問をこれから学んで行きたいと強く思うようになりました。また私に将来の夢のきっかけを与えてくれたのが、4年生の時に参加した「夢ナビライブ」という各大学の教授の方々から講義をしてくださるイベントでした。この時に私は「観光産業」に興味を持ち、それがKobeプロジェクトの卒業研究へと繋がり、最終的には志望校へと繋がりました。みなさんも友達と気軽に参加してみてもいいのではないでしょうか。また、学校生活の何が自分の将来の糧となるかは本当に分からないので、皆さんもひとつひとつ機会を大事にしてほしいです。

また、私は6年間部活動に所属して、仲間と共に多くの時間を大好きな部活動にかけてきました。みなさんにも、部活動や習い事、生徒会活動など時間をかけて取り組んでいることがあると思います。それらのことはぜひ大切に最後までやりきってほしいです。これらのことに取り組んだ時間が、何かをやり遂げることの大変さ、達成感を教えてくれ、私を強くしてくれました。だから、気概を持って受験勉強を最後まで踏ん張ることができました。

⑤参考となった参考書・問題集

英語：英熟語ターゲット1000(旺文社)、自身でまとめた英語イディオムノート
数学：新課程リンク数学演習ⅠA+ⅡB受験編(数研出版)
国語：上級現代文Ⅰ(桐原書店)、古文単語ゴロゴ(スタディカンパニー)
らくらくマスター漢文句形と単語(河合出版) 漢文早覚え速答法パワーアップ版(学研教育出版)
演習編きめる！センター国語漢文(学研教育出版)
自身でまとめた古文漢文要点ノート
地学基礎：10日間完成文系のための分野別センター地学基礎(旺文社)
日本史：改訂版センター試験日本史Bの点数が面白いほどとれる本(中経出版)

「自己を客観的に分析して弱点を把握し、その対処法を考え、たとえそれが

他人の勉強法とちがったとしても自信を持って貫くことが東大合格につながる」

中等1年生 東京大学文科三類

①学習方法

浪人生の私は1年を通して受験勉強しかすることがなかったので、自分が続けられる勉強法を編み出し、定着させました。夜はどうしても勉強する気になれなかったので、05:30起床・23:00就寝の毎日を送りました。また、長時間の勉強に耐えうる精神的・身体的な体力がなかったので、浪人仲間が21:00まで予備校で勉強するなか、私は18:45に帰宅し、自宅で夕食を食べ、1時間ほど勉強して残った時間は好きなように過ごしました。現役時代は自習室で寝てしまうことが多かったのですが、今年はそれを防ぐために静かなブース型の自習室ではなく、予備校の食事室や授業を行っていない教室など、寝づらい環境で自習するようにしました。自宅のキッチンで立って勉強するのがマイブームだった時期もあります。このように、自己を客観的に分析して弱点を把握し、その対処法を考え、たとえそれが他人の勉強法とちがったとしても自信を持って貫くことが東大合格につながったと思っています。

②大学受験に対する心がまえ

”If you don't like something, change it. If you can't change it, change your attitude.” - Maya Angelou.
大学受験を単なる苦痛と思うか、やりがいのあるチャレンジと思うか。それは、自分が決めることです。どうせ受験するのなら、私は後者を選択することを全力で勧めます。

③その他伝えたいこと

私は浪人したことを、自分の現役時代の過ごし方を、後悔していません。高3の春から初夏までは泣くほど必死に卒業論文の執筆,夏は吹奏楽の最後の舞台に向けて汗を流しながら練習,秋は文化祭で声をからしながら餃子の販売。高2,高1,さらに遡れば中学時代も,いつだって当時の「今」に夢中になって過ごした日々が,今日の私をつくりあげました。後輩のみなさんも,全力で自分の「今」を生きてください。

④参考となった参考書・問題集

生物基礎：リードα生物基礎(数研出版編集部)
世界史B：詳説世界史(山川出版社)
どんな人気参考書も,自分でつくったノートには劣る。みなさん,ノートを大切に。

「こつこつ」の大切さを実感

中等1回生 島根大学医学部医学科

①学習方法

<p>●通常期間(通常授業あり)</p> <p>6:30 起床</p> <p>7:00 朝ご飯</p> <p>8:50 登校完了,授業開始</p> <p>↓ 授業が終わったら自習。</p> <p>↓ その日あった授業の復習,</p> <p>↓ 次週分の予習が終われば下校</p> <p>20:30 晩ご飯</p> <p>23:30 就寝</p>	<p>●講習期間</p> <p>8:15 登校←予備校開門時間</p> <p>↓ 講習,残りは自習</p> <p>21:00 下校←予備校閉門時間</p>
--	---

私は10月までは予備校の授業の予習,復習のみ,11月半ばからはセンター試験対策のみをやっていました。自分の志望する大学の配点にもよりますが,センター試験は基礎だからといって放ったらかしにしていると,痛い目に遭います…。

②大学受験に対する心構え

私は現役時,受験に対する考えが甘く,受験生としての自覚が足りなかったと反省しています。受験というのは思いの外ハードで,覚悟と強い意志が必要です。

中等ではKobeプロジェクトをはじめ,勉強以外に大事なことをたくさん学ばせてくれます。その経験は,今もこれからも,自分の大きな助けになってくれると思います。しかし,その時間も勉強だけに打ち込んでいる他校生がいるのも事実です。予備校に通って,上には上がいるのだと痛感しました。受験の時は,そのような人たちとも闘わなければいけません。だからといって,勉強だけしていればいいというわけではないと思います。部活や学校行事などやるべき事があるうちは,勉強を疎かにしない程度に全力投球すべきです。その力は必ず糧になります。それが終わったら,自分を高めてくれるような友達と励まし合いながら,勉強一筋で頑張ってください。

また,日々の授業と中間・期末考査をしっかり受けてください!受験前は自分の知識が足りず焦ることもありますが,そんな時は基礎となる知識や理論をきちんと理解することが1番の近道だったりします。“こつこつ”の大切さを実感しました。先生方を信じてついてってください!

③その他伝えたいこと

私にはどうしても叶えたい夢があったので,1年間浪人生活を送りましたが,やはり現役で志望する大学・学部合格できることに越したことはありません。私のようにならないためにも,時期が来たらしっかり勉強してください。

しかし,これを言ってしまう元も子もないかもしれませんが,大学受験は何度でも受けることができるけど,中等生活は一度きりです。今しか経験できない部活動や学校行事,友達や先生とのふれあいを大事にしてください。勉強につよい学校は他にいくらでもあるけれど,私は浪人した今でも,勉強以外にも豊かな人間になるための経験をさせてくれたこの学校に感謝していますし,ここを卒業した事を心から誇りに思っています。勉強も部活も行事も遊びも精一杯打ち込んで,充実した中等生活を送って欲しいと思います。

受験期は確かに大変ですが,中等の仲間と乗り越えるんだという強気な気持ちで立ち向かっていってください!応援しています。

④参考となった参考書・問題集

予備校のテキスト
センター試験過去問レビュー(河合出版)
収録年数が多く,コンパクト。間違えたら✕□をつけて,1,2ヶ月あけてもう一度解くと,自分の成長が分かって楽しい!
まとめノートをつくる
化学,物理,地理のまとめノートを作っていました。授業中も配布プリントでなくこれにメモして,情報を蓄積させていました。他の知識との繋がりも整理できるし,試験前の時間の安心材料にもなるからおすすめてです!